

恵那市地域医療ビジョン・恵那モデル実施計画（案）への意見募集

【募集期間】令和7年4月16日から4月30日

【意見の提出状況】8名8件

件数	受付日	いただいたご意見（原文）
1 件目	令和7年4月27日	<p>上矢作病院のおかげで子育て中も安心して仕事を続ける事ができました。夜診があり、子どもが熱を、出しても診てもらえました。</p> <p>心配な事があれば、電話で相談も出来ました。おかげで、退職まで勤めあげることができました。義父母も、夫も最後を診ていただき本当にたすかりました。</p> <p>現在は、私も整形にかかりリハビリにもかかっています。</p> <p>母も、中津川市民病院からこちらへかえて、丁寧、親切に対応していただきなくてはならない病院です。</p> <p>これから、自分も歳を重ねるので、健康については本当に心配です。</p> <p>身近に病院があることは、本当に安心なことです。</p> <p>このまま病院として残して下さることを強く望みます。</p> <p>どうぞよろしく願いいたします。</p>
2 件目	令和7年4月28日	<p>令和5年度に策定された「恵那市地域医療ビジョン・恵那モデル」を具体化する実施計画が令和6年度策定委員会によって検討されました。</p> <p>市民のいのちと健康を守るために、それぞれの知見を有する方々によって現状の課題と将来を見据えて検討されてこられたことに敬意を表します。</p> <p>しかしながら、「ビジョン」も「実施計画策定案」も、上矢作地域に説明・懇談がなされたのは、昨年12月と今年3月の2回であり、多くの住民にとっては知らされていない内容が突然説明されたというのが実感です。病院代表・地域代表が参画していたことの情報も一般には知りません。</p> <p>上矢作病院の設立以来の歴史経過理念から、また何より住民のいのち健康が守られ町づくりの中核であったことから、町民にとって病院の現状とこれからの語られ検討されている経過内容については、最大の関心がありまた危機感を持って懇談会に臨んだところです。</p> <p>懇談会の住民意見にはよく耳を傾けていただき、策定委員会にも反映していただきました。その結果4月になって、上矢作病院について「継続 実施計画案に盛り込む」という新聞報道を見ることとなりました。同じ記事では「移転、診療所転換も視野」となっています。</p> <p>それは「喫緊の3つの経営課題がままならない状況に陥った場合には、移転も視野に有床・無床の診療所転換する」とされているビジョンと計画の再確認にほかなりません。</p> <p>今後現状の課題が短期に解決されていくとは見通せず、不安が払拭されたわけではありません。「ビジョン」を実施していくにあたっては、上矢作・恵那・近隣県住民の医療機関としての在り方を追求していただきたい。最大限住民の声を聞いて、ビジョンの内容の見直しも検討ください。</p> <p>3つの課題解決は容易ではないと思います。特別の体制と新たな取り組み方をしてもなお困難でしょう。上矢作病院自身も「経営強化プラン」でこの3年間努力されて行くことと表明されています。頑張ってください。病院利用者としてだけでなく住民として応援して行きます。</p> <p>そのためにも何のためのビジョンであり、経営強化なのか住民にももっと情報を出し、理解協力が得られるようにしていただきたい。広報・ホームページだけでは一方通行で住民には周知できない。</p> <p>地域協議会をはじめ住民自身の努力も必要とも思われるのでその啓発もしていただきたい。</p> <p>国の医療政策の厳しい中で、恵那市がダウンサイジングで切り抜ける方策に向かうのではないことを切に望みます。</p> <p>今後10年間の計画が進められていくこととなるわけですが、この計画の進捗状況や検証・評価はどのような時期にどのような機関で行われるのか。また公表はあるのか。明らかにしていただきたい。</p>
3 件目	令和7年4月28日	<p>恵那モデルには上矢作病院が存在しません。現状での存続をお願いします。住民の悲願を受け故松浦町政が多大な困難を経てまたこれも故人となられた大島先生を招聘され設立にこぎつけられた大切な病院です。</p> <p>病院が身近にあることで不調になれば早めに受診できることで悪化を防ぎ医療費も少なく済みます。また患者の状況に合わせ不要な投薬がなく生活指導がなされることでこれも医療費の節約になっていると思います。しかしひとたび必要となれば入院も可能で近くにあることで家族も行き来しやすいことに大きな価値があると思います。住民の困りごとに真摯に対応される姿勢は救急医療、要介護者への訪問など住民が安心して暮らすことができることを支える医療としてとてもありがたい大切な地域医療と考えます。今後高齢化がより進む上矢作としてまた自分事としてその存在は自分の命の問題でもあります。財政面人事面で大変なことは理解できますが合併時の病院存続の合意も踏まえ上矢作病院存続について工夫と努力をお願いするものです。</p>
4 件目	令和7年4月29日	<p>上矢作町に住んでいる私にとって、上矢作病院はなくてはならないところです。家から十数分で行ける病院があることは、生活の基盤の一部です。今から数年前、私は深夜、尿が出なくなり腹も痛くなってきました。真夜中のことで我慢していましたが、すごく痛み出し我慢できません。妻を起こし上矢作病院に電話したら、すぐに連れて来いとのこと、すごく痛いのを我慢しながらも十数分で病院に着きすぐに治療してもらいました。大変助かりました。</p> <p>今後、高齢者も多くなります。夜中に一刻を争う体の変調が起きることは十分考えられます。上矢作病院を病院として今後とも残していただきたいと切に思っております。</p>

5 件目	令和7年4月30日	<p>1. 上矢作町で病院建設計画が持ち上がった当時、上矢作町の医療を担う高齢のお医者さんはいましたが、町民の間に不安がありました。我慢をして手遅れになり亡くなった方、出産を迎えたものの自家用車で走った方など不幸な例がいくつか続いたとのこと。 (詳細は省略します)</p> <p>2. そので「病院を作ろう」と言う発案がありましたが「無謀だ。救急車を走らせろ」の意見があり町内を分断するほどになりましたが、町民は病院建設に賛同しました。そうして出来た上矢作病院ですから町民には愛着があり、上矢作病院の今後が気がかりになっています。ただ、この50年の間に世代も時代も変わり当時指導的役割を担った方々はほんの一握りになって圧倒的多数の方々はその後の聞き語りでの評価だと思います。ですが、そのことをとやかく言うものではありません。過去を振り返って参考にさせていただいたかったです。</p> <p>3. 本題のビジョンに関する意見ですが</p> <p>①「・果たすべき役割と機能」(P65～)では、「上矢作病院の役割は回復期・慢性期の治療」を現行通りの位置付けされました。そのことが反映され新聞報道のとおり上矢作病院の継続となったことは嬉しく思います。</p> <p>②計画書の冒頭にあるように人口減少と高齢化による利用者の減少は当然のことだと思いますので、他部局との連携により人口減少対策をしてください。これは私も過去に経験したことで多分間違いないと思います。(旧上矢作町では失敗しましたが)</p> <p>蛇足ながら、民間機関の情報によると、恵那市は、住みよいまち日本一とか、将来は消滅する歳とか言われています。今は、仕事は1時間程度の距離なら大きな抵抗はないでしょう。ですが医療・福祉・教育は住みよい条件で優先されるようです。職員各位には知恵を絞って住みよいまちを目指して市の人口増のために頑張ってください。</p> <p>③医療に関して重ねて一言。現状のままでは将来、上矢作町だけではなく市の周辺地域の住民は高齢化が進み医療の不便があっても中心部への移住も出来ずただ座して待つのみとなることを懸念しています。</p> <p>なにとぞ、当面10年は周辺地域の医療の現状維持を考慮したうえでの計画にしてください。</p>
6 件目	令和7年4月30日	<p>地域医療に関わって、市民の意見を聞くという「パブリックコメント」の取り組みについては、大事なことだと思います。しかし、この取り組みを、4月23日に友だちから聞いてわかりました。30日までに出さなくてはならないのです。さっそく、上矢作の人達に知らせると、皆さん初めてのことでした。</p> <p>それで、住民に知らせるために、「回覧で廻す」「広報で放送する」「振興事務所に掲示する」など、住民に知らせることを工夫して取り組んで欲しかったです。</p> <p>上矢作では、昨年の12月、今年の3月に上矢作の地域医療に係わる懇談会が行われました。その中で「恵那市地域医療ビジョン・恵那モデル実施計画」について、十分な説明がされています。3月の懇談会では、資料・今後の取り組み「公立医療施設の経営改善と医療資源の最適化②」の計画の中で、最後にやや小さい文章で※転換する場合は、地域の理解を得ながらすすめる。が書かれています。このことについて、具体的にどういうことか質問したところ鷹見部長は、「結論ありきでは無く、前もって聞く」旨の発言でした。</p> <p>地域医療は、個人の問題ではありません。公の問題です。</p> <p>それから、「恵那市地域医療ビジョン・恵那モデル実施計画」の内容が書いてある資料が上矢作町振興事務所にあることが分かり、見るために行きました。膨大な資料でしたので、借りていって読みたいと話すと、「貸し出すことはできません。ここで読んでください」との返事でした。落ち着いて読めなかったこと、中味がよくわかりませんでした。説明して欲しいと思いました。</p> <p>以上のこともって、「恵那市地域医療ビジョン・恵那モデル実施計画」について、上矢作町で、前回のようには昼と夜と2回に分けて、懇談会をもって、住民の意見を聞いて欲しいです。</p> <p>上矢作の住民が望む医療は、夜間医療、救急、入院施設があることです。山の中でも、安心して暮らせるために合併前の上矢作町は、ずっと取り組んできました。</p> <p>そして、上矢作町にとっては、市町村合併の時の約束として、「上矢作病院及び各診療所については、将来に亘り現行の事務体制及び運営形態を引き継ぎ、地域医療の基本施策としてさらに充実をはかる。」があり、これは、今でも変わらない住民の願いです。</p> <p>もう一度お願いします。「恵那市地域医療ビジョン・恵那モデル実施計画」についての上矢作町での懇談会の開催をお願いします。</p>
7 件目	令和7年4月30日	<p>上矢作町は上矢作病院が町の中心にあり、安心して暮らせる町です。家から10分で病院に行け、何かあった時も電話をすれば診てもらえるという安心感があります。とても暮らしやすいところです。上矢作町だけでなく、近隣の町村にとっても必要です。ぜひ病院として今後も残していく方向で進めて欲しいです。</p>
8 件目	令和7年4月30日	<p>・「上矢作病院を核とした診療所間のネットワークの構築」をうたい、「センター機能を持つ診療所は今後検討云々」とありますが、文脈からすると上矢作病院を「センター機能を持つ診療所」にすると決めているように感じられます。</p> <p>・上矢作病院の診療所化には基本的には反対です。周辺の地区も含めた住民はオンラインで移動できません。近くに上矢作病院がないと困るのです。</p> <p>・しかし課題もあることはわかります。地域住民が十分納得できる話し合いをしていただきたい。「決まったこと」を説明するのではなく、思いや意見をしっかりと聞いて下さい。中学校統合問題の轍を踏まないで下さい。</p>